



## 2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月8日

上場会社名 金下建設株式会社

上場取引所 東

コード番号 1897 URL <https://www.kaneshita.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金下 昌司

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 奥村 泰宏

TEL 0772-46-3151

四半期報告書提出予定日 2020年5月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2020年12月期第1四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	3,736	25.8	431	341.0	421	408.7	252	689.2
2019年12月期第1四半期	2,969	0.7	98	△56.1	83	△63.1	32	△69.9

(注)包括利益 2020年12月期第1四半期 △112百万円 (—%) 2019年12月期第1四半期 63百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	103.87	—
2019年12月期第1四半期	11.67	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	20,310	16,966	81.8
2019年12月期	22,977	19,573	83.7

(参考)自己資本 2020年12月期第1四半期 16,608百万円 2019年12月期 19,237百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	—	—	50.00	50.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,900	8.3	340	783.8	390	334.4	240	441.8	98.88
通期	11,000	△6.0	320	122.3	430	61.6	260	38.2	107.13

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年12月期1Q	3,806,660 株	2019年12月期	3,806,660 株
2020年12月期1Q	1,534,000 株	2019年12月期	1,070,811 株
2020年12月期1Q	2,427,066 株	2019年12月期1Q	2,736,031 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
四半期個別受注の状況	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善がみられる等、緩やかな回復基調にありましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い経済活動の減速や株式市場の混乱がみられる等、厳しい状況となり、先行きにつきましても不透明な状況が続いております。

建設業界におきましては、公共投資、民間設備投資は、いずれも力強さは無く、建設技術者・労働者不足の問題に加え、新型コロナウイルス感染症による影響が懸念されており、依然として厳しい状況となりました。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は37億3千6百万円（前年同四半期比25.8%増）となり、利益面につきましては、売上高の増加や工事採算の改善に伴い売上総利益が増加したことにより、営業利益は4億3千1百万円（前年同四半期比341.0%増）、経常利益は4億2千1百万円（前年同四半期比408.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億5千2百万円（前年同四半期比689.2%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。（セグメントごとの経営成績については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載しております。）

## （建設事業）

受注工事高は、18億8百万円（前年同四半期比58.8%増）となりました。完成工事高は36億5千6百万円（前年同四半期比26.0%増）、セグメント利益は、完成工事高の増加や工事採算の改善に伴い完成工事総利益が増加したことにより、5億2千7百万円（前年同四半期比166.5%増）となりました。

## （製造・販売事業等）

主にアスファルト製品の製造・販売で、売上高は2億2百万円（前年同四半期比25.1%増）、セグメント利益は5千5百万円（前年同四半期比193.4%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、現金預金が減少したこと等により、前連結会計年度末より26億6千8百万円減少し、203億1千万円となりました。

負債は、繰延税金負債が減少したこと等により、前連結会計年度末より6千1百万円減少し、33億4千4百万円となりました。

純資産は、自己株式が増加したこと等により、前連結会計年度末より26億7百万円減少し、169億6千6百万円となりました。

この結果、自己資本比率は81.8%（前連結会計年度末は83.7%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の業績予想につきましては、2020年2月7日発表の数値を変更しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	8,233	5,862
受取手形・完成工事未収入金等	5,251	6,080
有価証券	473	574
未成工事支出金等	532	130
その他	20	19
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	14,508	12,663
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,214	1,226
その他(純額)	341	326
有形固定資産合計	1,556	1,552
無形固定資産		
	17	16
投資その他の資産		
投資有価証券	6,529	5,733
その他	593	570
貸倒引当金	△225	△225
投資その他の資産合計	6,897	6,079
固定資産合計	8,470	7,647
資産合計	22,977	20,310

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,695	1,555
未払法人税等	133	156
未成工事受入金	246	362
完成工事補償引当金	19	23
賞与引当金	—	38
工事損失引当金	22	18
その他	414	460
流動負債合計	2,529	2,611
固定負債		
繰延税金負債	505	355
役員退職慰労引当金	355	362
その他	16	16
固定負債合計	876	733
負債合計	3,405	3,344
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	2,143	2,143
利益剰余金	16,765	16,881
自己株式	△2,027	△4,384
株主資本合計	17,882	15,640
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,355	969
その他の包括利益累計額合計	1,355	969
非支配株主持分	336	358
純資産合計	19,573	16,966
負債純資産合計	22,977	20,310

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	2,969	3,736
売上原価	2,650	3,082
売上総利益	319	654
販売費及び一般管理費	221	223
営業利益	98	431
営業外収益		
受取利息	8	7
受取配当金	0	0
不動産賃貸料	11	12
その他	3	2
営業外収益合計	22	20
営業外費用		
支払利息	0	0
持分法による投資損失	30	22
不動産賃貸原価	4	3
その他	3	4
営業外費用合計	36	30
経常利益	83	421
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
投資有価証券評価損	2	—
特別損失合計	2	—
税金等調整前四半期純利益	81	422
法人税等	52	148
四半期純利益	29	274
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3	22
親会社株主に帰属する四半期純利益	32	252

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	29	274
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34	△386
その他の包括利益合計	34	△386
四半期包括利益	63	△112
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	66	△134
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	22



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年2月13日開催の取締役会決議に基づき、2020年2月14日付で、東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)により、自己株式463,100株を取得しております。

この結果、単元未満株式の買取りによる増加を含め、当第1四半期連結累計期間において自己株式が2,358百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式は4,384百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	建設事業	製造・販売 事業等	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,902	67	2,969	—	2,969
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	95	95	△95	—
計	2,902	161	3,064	△95	2,969
セグメント利益	198	19	216	△119	98

(注) 1. セグメント利益の調整額△119百万円には、セグメント間取引消去△5百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△113百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	建設事業	製造・販売 事業等	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,656	80	3,736	—	3,736
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	121	121	△121	—
計	3,656	202	3,857	△121	3,736
セグメント利益	527	55	582	△151	431

(注) 1. セグメント利益の調整額△151百万円には、セグメント間取引消去△31百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△120百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

四半期個別受注の状況

個別受注実績

(百万円未満四捨五入)

	受 注 高	
2020年12月期第1四半期	1,683 百万円	62.8 %
2019年12月期第1四半期	1,034 百万円	△ 79.5 %

(注) ①受注高は、当該四半期までの累計額

②パーセント表示は、対前年同四半期増減率

(参考)受注実績内訳

(単位：百万円)

区分		2019年12月期 第1四半期		2020年12月期 第1四半期		比較増減	増減率	
建設 事業	土木	官公庁	788	(76.2 %)	1,457	(86.6 %)	670	85.0 %
		民間	58	(5.6 %)	149	(8.9 %)	91	156.6 %
		計	846	(81.8 %)	1,607	(95.5 %)	761	89.9 %
	建築	官公庁	16	(1.6 %)	25	(1.5 %)	9	53.7 %
		民間	171	(16.6 %)	51	(3.0 %)	△ 120	△ 70.2 %
		計	188	(18.2 %)	76	(4.5 %)	△ 111	△ 59.3 %
	合計	官公庁	804	(77.8 %)	1,483	(88.1 %)	678	84.4 %
		民間	229	(22.2 %)	200	(11.9 %)	△ 29	△ 12.6 %
		計	1,034	(100.0 %)	1,683	(100.0 %)	649	62.8 %

(注) ( ) 内のパーセント表示は、構成比率